



JUNICHI NAKAHARA

×



2013年、中原淳一は生誕100年を迎えました。
多彩な分野で才能を発揮し、『美』を追求しつづけたアーティスト。
現在も多くの人を魅了する彼の作品が、ROOTOTEになりました。

中原淳一

1913年香川県生まれ。幼少時より絵や造型に興味を示し、18才の時、趣味で創ったフランス人形が認められ東京の百貨店で個展を開催。それがきっかけで雑誌「少女の友」の挿絵、口絵、表紙絵、付録などを手がけるようになり、一世を風靡する人気画家となる。戦後は、女性に夢と希望を与え、賢く美しい女性になってほしいとの理想に燃え、自分の雑誌「それいゆ」(昭和21年)「ひまわり」(22年)「ジュニアそれいゆ」(29年)「女の部屋」(45年)を相次いで創刊。編集長として女性誌の基礎を作っただけでなく、イラストレーター、ファッションデザイナー、人形作家、プロデューサー、ヘアメイクアーティスト、スタイリスト、インテリアデザイナーなど多彩な才能を発揮。そのすべての分野において現代につながる先駆的な存在となる。1950年代後半、絶頂期に病に倒れ、長い療養生活の後、1983年に永眠。



JUNICHI NAKAHARA

×



2013年、中原淳一は生誕100年を迎えました。
多彩な分野で才能を発揮し、『美』を追求しつづけたアーティスト。
現在も多くの人を魅了する彼の作品が、ROOTOTEになりました。

中原淳一

1913年香川県生まれ。幼少時より絵や造型に興味を示し、18才の時、趣味で創ったフランス人形が認められ東京の百貨店で個展を開催。それがきっかけで雑誌「少女の友」の挿絵、口絵、表紙絵、付録などを手がけるようになり、一世を風靡する人気画家となる。戦後は、女性に夢と希望を与え、賢く美しい女性になってほしいとの理想に燃え、自分の雑誌「それいゆ」(昭和21年)「ひまわり」(22年)「ジュニアそれいゆ」(29年)「女の部屋」(45年)を相次いで創刊。編集長として女性誌の基礎を作っただけでなく、イラストレーター、ファッションデザイナー、人形作家、プロデューサー、ヘアメイクアーティスト、スタイリスト、インテリアデザイナーなど多彩な才能を発揮。そのすべての分野において現代につながる先駆的な存在となる。1950年代後半、絶頂期に病に倒れ、長い療養生活の後、1983年に永眠。

